

1月  
& 2月

# 福玉便り

東北・福島+埼玉=福の玉、が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますよ~!!

通巻 118 号

発行：『福玉便り』編集委員会 NPO 法人埼玉広域避難者支援センター・(一社) 埼玉県労働者福祉協議会

協力：生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先：NPO 法人埼玉広域避難者支援センター〒 330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館 1F TEL0120-60-7722

## 2026 年を迎えるにあたって

2011年3月11日から15回目の春を迎える年となりました。皆さん、いかがお過ごでしようか。

福島第1原発事故から来年で15年となるうとする現在、どうしても心が落ち着きません。その理由ははつきりしています。新潟県の花角英世知事が、11月21日の記者会見で東京電力柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）の再稼働容認を表明したためです。これは新潟県議会の信任を条件としていますが、多くの人が信任を得られる可能性は高いとみており、近いうちに再稼働される見通しです。本文は、県議会が始まる前に書いており、現時点ではどのような結果となるかは不明ですが、再稼働が実現すれば、福島第1原発事故以来東京電力では初めてとなります。

原発事故により、ピーク時には16万人以上の住民が避難をしいられ、今まで2万人以上の人々が県内外に避難しています。デブリが炉内に存在する限り、建屋の解体はおろか、原発処理水の放出も終わりません。福島の人々が望む「廃炉の最終形」は、残念ながらまだ見えていません。こうした現状でありながら、東京電力に原発を再稼働する資格があるのでしょうか。

新潟県は11月、原発30キロ圏内の9市町村の住民を対象とした県民意識調査の最終的な結果を公表しました。

「再稼働の条件は現状で整っている」との設問に対し、どちらかと言えばを含め「そうは思わない」と回答したのが61%で多数を占めました。事故時の避難道路や除雪設備など整備の必要性を訴える声が8割を占め、再稼働は早計という住民の思いの一端が浮き彫りになりました。避難もできない、救援にも入れない、どちらも困難な状況が生まれうるというのが能登半島地震の教訓です。自然災害と原子力災害との複合災害に対して、避難計画の実効性は確認されていません。

地元の犠牲が想定内と思えるような政策のどこに正当性があるのか、思わずにはおれません。

新潟県の市町村は、原発事故で避難された方々の受け入れを積極的にしてこられました。ある日いきなり着の身着のままバスに乗せられて全く知らない土地に連れていかれて、被爆検査の為に公民館に詰められて、怒ったような不安な表情で過ごしていった避難者の方々の姿が多くの方々の記憶に残っています。原発事故における避難や被害は想像を超えたものだという衝撃を、埼玉県にいた私たちも同じように抱きました。

花角知事が原発再稼働容認の判断について県議会に諮ることで信を問う考え方を表明したことに対する、信を問うう相手は新潟県民だという声が大きくなっています。県民の生命や健康・財産に関わる再稼働問題において「判断に責任を持るのは県民」という訴えも理解できますが、一方で今の状況は新潟県民に責任をなすりつけるようにも感じます。不安や不信を抱えたまま再稼働が進むリスクは原発の周辺地域が負い、つくられた電気は本当に理解できますが、一方で今の状況は首都圏へ送られるという構造は変わつておらず、私たち首都圏の住民は再稼働問題にとつて当事者であるのです。

先月、都内で開催された交流会において、シンガーソングライター普天間かおりさんのミニコンサートが実施されました。仮設住宅の居住者から寄せられた故郷の思い出をもとに、彼女が作詞した『桜舞う町で』が披露された際、同席した参加者の多くが感極まり、涙ぐむ姿が見受けられました。15年間近く抱えてきた悔しさを、これ以上無視されるのは耐えられない。その思いが溢れて、私も涙を流していました。

福玉便り編集部は、皆さんの痛みや喪失に寄り添うことを微力ながら続けていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

（編集部・薄井）

**新潟県知事、再稼働を容認**

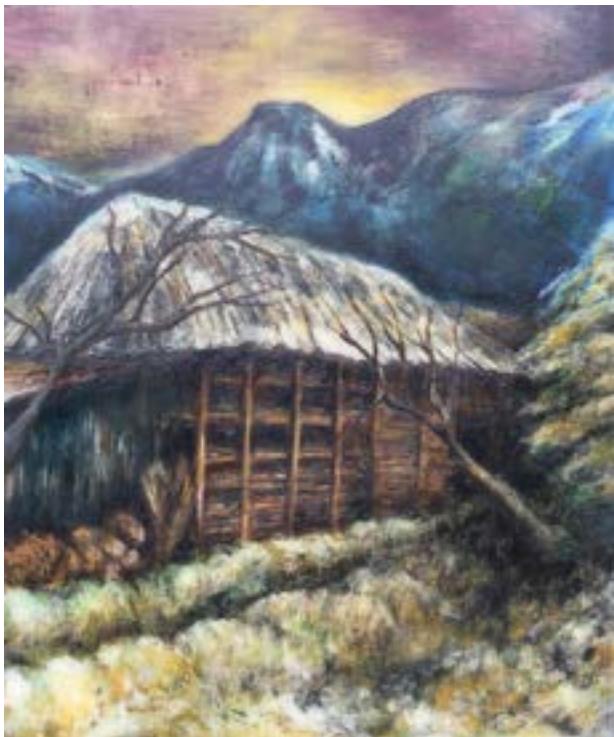
花角英世新潟県知事は11月21日、東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）の再稼働容認を表明しました。それに對して25日、約1200人の市民らが新潟県内外から集まり、集会を開催後、約1キロの輪をつくって県庁と県議会の庁舎を取り囲みました。

花角知事は、かつて、脱原発を目指す、県民に信を問うなどと公約に掲げていきました。

ました。参加者は「知事は公約を守れ」「県民に信を問え」「県議会だけで決めるな」「再稼働の是非は私たち県民が決めたい」と、県庁に向かって声を上げていました。

新潟県民への市民団体のアンケート調査では、6割が再稼働に反対しているそです。

者の方々のご経験とその思いを考えると、今回の再稼働については、ありえないことと個人的には感じています。（吉田）



吾妻連峰と小屋です。雪降る寒い12月にこの絵を描きました。場所は福島市平石地区から吾妻連峰をのぞめる農家で描きました。冬の吾妻連峰はとても雪が多く厳しい景色となります。でもその厳しさは、やがて来る春の準備をしているように思うのです。私は、その時、そんな優しさのある厳しい冬の吾妻連峰に感動してペンを走らせました。このような絵ですが、是非皆様の癒しになればとても幸いです。

オオハシワタル



## 第24回 With You さいたま フェスティバル 2026年2月7日(土)～8日(日)

福玉支援センターも出展・参加します

●さいがい・つながりカフェ 2月8日午前 今年も合唱します。皆さんで歌いましょう。

●福玉支援センター

2月7日 災害対策基本法の一部改正から災害支援の現状を学びましょう。

その他にも、県内の様々な団体が活動発表をします。ぜひお越しください。参加無料です。

問い合わせは薄井まで (080-5532-7380)

眠れない日が続いているとき 気にかかることがあるとき 困っていることがあるとき  
理由ははっきりしないけれど、誰かに話を聞いてもらいたいとき  
いつでも気軽に電話ください。



**福玉相談センター 電話：0120-60-7722 (フリーダイヤル)**

火曜日・水曜日・木曜日 (9:30~16:30)

電話で相談しづらい方はメールでもどうぞ。メール：fukushima\_soudan@yahoo.co.jp



# 各地の 交流会など

新型コロナウイルスの感染拡大により、交流会の流動的な状況が続いておりました。各交流会の感染対策については連絡先にお問い合わせください。なお、各交流会に参加される方は、引き続き体温測定の上でご参加いただき、参加中は消毒や換気にご協力ください。

①	加須市	双葉町民によるボランティアカフェ	090-5356-8778 (鵜沼さん)
⑥	加須市	オバトン	090-6526-8560 (藤井さん)
⑧	上尾市	東日本大震災に咲く会ひまわり	080-3091-6215 (橘さん)
⑩	熊谷市	くまがや結の会	090-7661-9236(林崎さん)
⑯	川口市	ひまわりの会	080-5431-0123 (島田さん)
⑯	さいたま市	さいがい・つながりカフェ	080-5532-7380 tunagari.saitama@gmail.com
㉗	ふじみ野市	おあがんなんしょ交流会	090-5345-8408 (松館さん)
㉘	川越市	ここカフェ@川越	070-5080-4494 (鈴木さん)
㉙	さいたま市	玉兎の会	090-6128-1948 (小林さん) <a href="https://gyokutonokai.wixsite.com/2018">https://gyokutonokai.wixsite.com/2018</a>

## ⑥オバトン

1月、2月のハーモニカ、手話歌は都合によりありませんが、食事、交流会、塗り絵教室はいつも通り行います。風邪などにお気をつけて年末年始お過ごしください。皆さんの参加お待ちしております。  
1/22(木)、2/10(火)、2/26(木)  
10:00～14:00 キャッスルきさい  
090-6526-8560 (藤井さん)

## ㉗おあがんなんしょ交流会

今号の到着前後になるかと思いますが、12/14(火)に恒例の「オレゴン樅のクリスマスアレンジ作り」をします。場所はふじみ野市サービスセンター2階会議室、13:00～です。希望の方は松館までお声かけ下さい。  
090-5345-8408 (松館さん)

## ㉙玉兎の会

予約は要りません!お気軽にご参加ください。皆様のご予定を調整しながら  
1/17(土)、2月は未定 10:30～12:00  
With You さいたま4F 和室 048-854-8703  
(小林さん)  
<https://gyokutonokai.wixsite.com/2018>

## ㉘ここカフェ@川越

毎月交流会を行っています。場所は JUN ホール、10時～です。  
pororor311@gmail.com、070-5080-4494 (鈴木さん)

## ⑯さいがい・つながりカフェ

1/8(木)、1/22(木)、2/12(木)、  
毎月 2/26(木) 11:00～15:00 With You さいたま  
pororor311@gmail.com、070-5080-4494 (鈴木さん)

東京電力 福島第一原子力発電所事故 原子力損害賠償・廃炉等支援機構

## 原子力損害賠償に関する個別相談会・請求書作成支援

開催日 令和8年1月17日(土) 10:00～16:00 [休憩 12:00～13:00]

会場 『東京国際フォーラム』ガラス棟5階 G504会議室

住所: 東京都千代田区丸の内3-5-1・JR『有楽町駅』より徒歩1分

・JR『東京駅』八重洲南口より徒歩5分・東京メトロ『有楽町駅』より徒歩1分、『二重橋前駅』『日比谷駅』より徒歩5分 ※有料駐車場はございますが、公共交通機関をご利用ください。

### ● 弁護士による個別相談(予約優先※)

- 原発賠償に詳しい弁護士が原子力損害賠償全般のご相談に対応いたします。
- 賠償請求でお困りの方は、ぜひご相談ください。

### ● 連絡先

- 事前予約

予約ダイヤル 0120-330-540

【受付時間】9:30～17:00 月～金 (祝休日、12/27～1/4を除く)

- ご来場が難しい場合は、電話相談をぜひご利用ください!

電話相談ダイヤル 0120-013-814

【対応時間】10:00～13:00、14:00～17:00 月～金 (祝休日、12/27～1/4を除く)

### ・行政書士による電話での情報提供

- ・弁護士による電話相談:【事前予約制】祝日を除く毎週火・木 10:00～13:00

- ・オンラインでのご相談も可能

### ● 専門家へご相談ください。

- ・請求漏れがないか相談したい
- ・住居確保にかかる費用の賠償請求について相談したい
- ・ADRの申立てについて相談したい など